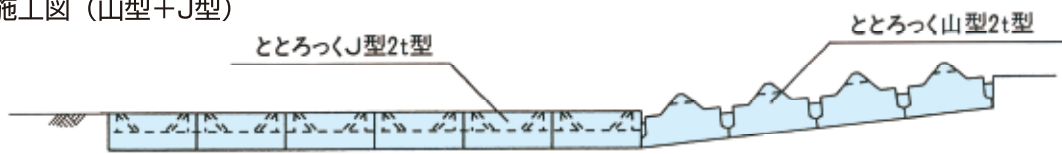


ととろっく (魚道用根固めブロック)



●標準施工図 (山型+J型)



山型 平型

落差工等の下流斜面に設置して、落差の低減を図ることができるとともに、山型と平型を組み合わせることによって流れをコントロールし、魚道を構築することができます。必要に応じて鉄筋連結が可能です。

J型 L型 X型

護床工として設置することによって、魚の移動に必要な水深を確保し護床工上流まで魚を導くことができます。河川の流れる方向と水路方向は一致するのが一般的ですが、河川を横断する方向に水路が必要な場合は、変形ブロックで対応することができます。必要に応じて、連結金具による連結が可能です。

亀型

落差下流を階段状にして設置することによって、水叩きなどに手を加えることなく、落差の低減を図ることができます。必要に応じて、連結金具による連結が可能です。

●ととろっく（魚道用根固めブロック）

山型(2t型)



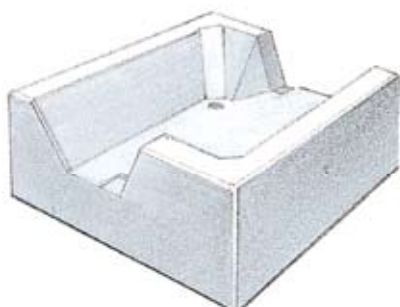
平型(2t型)



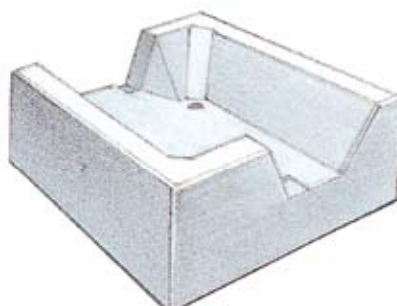
諸元		山型	平型
2t型	質量(tonf)	2.387	2.038
	体積(m ³)	1.038	0.886
4t型	質量(tonf)	4.471	3.694
	体積(m ³)	1.944	1.606

落差を低減し、魚道を自在に構築。

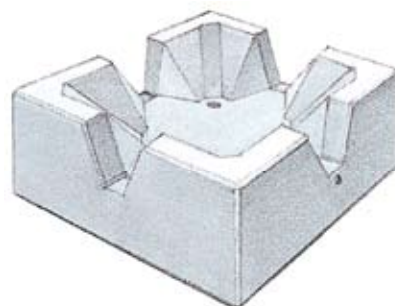
J型(2t型)



L型(2t型)



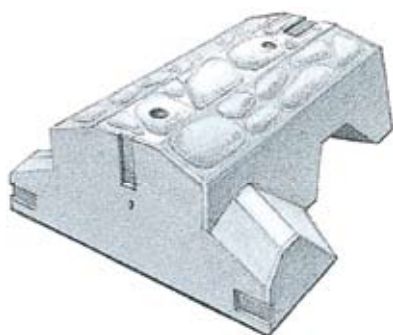
X型(2t型)



諸元		J・L型	X型
2t型	質量(tonf)	1.992	2.022
	体積(m ³)	0.866	0.879
4t型	質量(tonf)	4.027	4.083
	体積(m ³)	1.751	1.775

魚道の交差点のような機能を持つ。

亀型(2t型)



諸元		
2t型	質量(tonf)	2.102
	体積(m ³)	0.914
4t型	質量(tonf)	4.025
	体積(m ³)	1.750

階段状に設置して落差を低減。